

2025 年度 行岡保健衛生学園 自己点検・評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：放射線科

記入者：福澤 宏省

1. 学校の教育目標

教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧術に関する理論と実地技能を備え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。

2. 学科の教育目標

最新の技術と知識と、そして心をモットーに理工学の基礎を養い、高度な技術や最先端の医療に対応すべく、知識そして医療人としての自覚とやさしさを備えた診療放射線技師の養成を目標とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

理念や目的を考慮し、日々進化する装置に対応できるよう教育し、国家試験の合格率を向上させる。

②今後の改善方策

最新の装置や技術に対応できるよう専門性の高い医療スタッフを集めるとともに、学生の数学力や思考力を高める。

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・就業規則や給与に関する規定は整備されているが、それが配付されていないことがある。
- ・書類の電子化はされているが、個人の PC に保存されている場合が多く、共有率が低い。

②今後の改善方策

- ・ファイルサーバー(ネットワーク対応 HDD)に共有書類を保存し、効率化する。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

授業評価は実施しているが、その評価体制が確立できていない。

② 今後の改善方策

学生の授業理解がより深められるようカリキュラムの内容や構成を逐次見直す。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 ② 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

① 課題

国家試験合格率向上のため努力をしているが、なかなか成果がでない。

② 今後の改善方策

資格の意味、重要性、魅力を充分理解させ、学習意欲を向上させる。

国家試験対策(模擬試験など)を今までより早い時期より開始し、国家試験への意識付けにつなげる。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

養成学校が増加したことと、求人件数が昨年より大幅に減少したことにより、採用試験の受験回数が増加している。

② 今後の改善方策

国家試験への意識付けと同様に、就職活動への意識を2年生のうちに持たせる。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

①課題

インターンシップや海外研修等は特に行っていない。

③ 今後の改善方策

授業時間数およびライセンスの関係上、インターンシップや海外研修等を実施するのは難しい。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

18才人口の減少と、大学志向が強くなり受験者数が減少している。

② 今後の改善方策

社会人・大学卒業見込み者などの応募が増加するような広報活動を行う。

③根拠資料

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 ①
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①

①課題

月曜日から土曜日まで授業があり、ボランティア活動や社会・地域貢献の時間がとれない。

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

2025 年度 学校法人 行岡保健衛生学園 学校関係者評価 議事録

実施日： 2026 年 4 月 18 日(土曜日) 15 時 00 分～17 時 00 分

場 所： 大阪行岡医療専門学校長柄校 4 階 放射線科教務室

学 校 名： 大阪行岡医療専門学校長柄校

学 科 名： 放射線科

■出席者

関係者評価の委員： ①（卒業生）（臨床実習施設）

②（卒業生）

教 員 名： 福澤 宏省

書 記： 吉川 嘉寿浩

事 務 局： 鶴田 敏郎

【 講 評 】

○国家試験の合格率が悪いので、国家試験対策の授業の方法や内容をもっと検討した方が良いのではないかと。

○昨年指摘のあった、就職に関する支援(面接指導及び履歴書の記入指導)が改善されている。

○受験生が減少しているので、募集方法や広報活動を検討してはどうか。

【課 題・今後の対策】

○国家試験合格率向上のために、授業内容や学内模擬試験の回数を検討する。

○就職に関する支援をさらに充実する。

○学生募集については、試験の種別を増やすなどの対策を行う。

○概ね、「適切」や「ほぼ適切」の評価であるが、「やや適切」の評価がついた項目の改善を行う。

【備考・その他】

○本年度、第三者評価は未実施である。

2025 年度 行岡保健衛生学園 自己点検・評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：臨床検査科

記入者：堀田 博恵

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医学専門課程を置き、放射線学、臨床検査学、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧術に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。(学則より)

2. 学科の教育目標

- (1) 臨床で必要とされる医療知識、医療技術を修得し、さらにコミュニケーションをとり他職種との連携、共同をはかることができる医療技術者を育成する。
- (2) 医療従事者として求められるマナーの修得をする。
- (3) より実践的な医療知識、医療技術の修得を目指し、講義及び実習を充実させる。
- (4) 学生に還元するため、教職員のスキルアップの向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

①課題

- ・基本的な知識・技術を習得させるとともに、時代のニーズに対応できる質の高い医療人としての人材育成を考慮し、最終的には国家試験に繋がるよう努力したい。
- ・学校教育理念については教員、学生への理解は進んでいるが、非常勤講師への周知が十分とは言えないため、講師会等により共有を図る必要がある。

②今後の改善方策

- ・特色教育の取り組みを SNS や Web サイト、オープンキャンパスなどで積極的に発信する。

③根拠資料

④特記事項

他職種との連携・協同を図ることができる医療技術者の育成するため、1年次より行岡病院での実習見学を実施するとともに、歯科衛生科や鍼灸科との講義および合同実習を取り入れている。

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

- ・就業規則に関する規程が一部なく不明な点が多い。
- ・教育内容及び学生のニーズに合った教育の方法など学校の方針としてさらに明確に打ち出していくことが必要。
- ・学園全体のシステム化、特に情報共有での業務効率化が課題である。

②今後の改善方策

業務効率化や情報共有システム化の導入

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 ② 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・教員は人材育成目標の達成に向けた授業を行うための専門性や経験を備えているものの、教育以外の業務が多く、教育活動に集中しにくい一面がある。
 今後は、教員が本来の教育活動に注力できるよう、業務分担の見直しや支援体制の整備が求められる。
- ・職員研修は実施されていない状況。

②今後の改善方策

- ・関連病院との連携を図り、職員の研究・研修を積極的に行う。
- ・教員が担う必要のない業務を可能な限り事務職員に移行する。
- ・出欠管理、成績処理、アンケート集計などをシステム化し、手作業を減らしたい。
- ・職員が成長できる機会を増やし、教職員同士が学び合える雰囲気づくりに取り組んでいきたい。

③根拠資料

④特記事項

厚生労働省指定規則に基づいたカリキュラムを作成し、適正な教育を行っており、その到達及び学修時間は確保されている。

学生指導については面談などで全学年行っており、成績不良等の学生保護者には連絡又は面談を実施している。保護者には成績通知を書面にて行っている。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・学生の退学率の低減は多様な事情により容易ではないが、早期発見・早期対応・個別支援の充実を柱とした継続的な取り組みが求められる。
- ・個人情報保護への配慮から同窓会等の組織化が難しく、卒業生の動向や社会的活躍を継続的に把握する仕組みが十分に整備されていない。

②今後の改善方策

- ・退学率の低減に向け、欠席や成績低下が見られる学生に対する早期面談と教職員間の情報共有を徹底し、個別支援の充実に継続して取り組む。

③根拠資料

④特記事項

臨床検査技師国家試験対策の講義や模擬試験などの免許に向けた指導を十分に行っている。就職に向けても就職ガイダンスの時間を設け、就職に対する指導を行っている。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・卒業生のネットワークが年々縮小となっている。
- ・卒業生は学校を通さずに転職すればその後の調査は困難になっている。

②今後の改善方策

卒業生の動向についてはできる限り調査していきたい。

③根拠資料

就職説明会資料

④特記事項

- ・最終学年は担任を中心として、就職担当も交えて複数の教員で進路支援を行っている。
- ・就職求人票は閲覧方式をとっている。学生が就職を希望すれば就職担当者と担任等が相談にのり、学生の希望や適性に応じた進路決定を支援している。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

①課題

- ・設備面での老朽化が著しく、教育上対応が難しい場面もあり、学生の学習スタイルやニーズに対応したデジタル化の整備が求められている。
また、教育に使用可能な部屋は確保されているものの、十分に活用されていないスペースが一部存在しており、教育効果の向上を図るためにも早急な整備と有効活用が求められる。
- ・インターンシップは新カリキュラム以降、タスクシフトなどで授業内容が増え、実施することが難しい。
- ・校舎の耐震化や非常口・避難経路の整備は十分に整っているが、感染症流行以降、避難訓練の実施が見送られている状況にある。

②今後の改善方策

- ・設備については高額なものが多いため、一度には難しいが少しずつ買い替えを予定している。レンタル、リユース品等も考慮に入れる。
- ・定期的に防災訓練を計画・実施し、防災意識を図る。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

- ・募集活動は適正に行っているが、少子化の影響を受けている。
- ・広報においては学校名の認知度を高めるとともに、オープンキャンパスなどの実施日や内容をいかに広く志願者に認識してもらうかが課題であり、現状では広報を専門的に担う体制が十分とはいえず、来校者が受験につながるよう工夫・努力が課題となる。

②今後の改善方策

- ・募集内容や方法・手段などを時代の流れに合わせて見直していく。
- ・特に SNS や Web などデジタル媒体の活用を強化し、情報発信のタイミングや内容の最適化を図る。また、限られた職員での学生募集活動の効率化、効果の最大化を目指したい。

③根拠資料

学校パンフレット、募集要項など

④特記事項

- ・教員が年度初めに高校訪問、進学ガイダンス等の学生募集活動を行っている。
- ・大学と比較して、学生の経済的負担に配慮した学納金設定になっている。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

大人数を対象とした講習会やセミナーを行うための施設が十分でなく、時間的な制約もあり実施が難しい状況である。

②今後の改善方策

学外での活動にできるかぎり積極的に参加している。

③根拠資料

④特記事項

- ・学生の長期休暇を利用して技師会の献血ボランティア活動を行っている。
- ・学会参加及びボランティア活動を実施している。

2025 年度 学校法人行岡保健衛生学園 学校関係者評価 議事録

実施日：2026 年 3 月 21 日（土曜日）13 時 00 分～15 時 30 分

場 所：大阪行岡医療専門学校長柄校 4 階 基礎医学実習室
5 階 各実習室

学 校 名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学 科 名：臨床検査科

関係者評価の委員：①業界関係者（卒業生、元病院検査科技師長、元大阪府臨床検査技師会副会長、元大阪市・堺市衛生検査所精度管理専門委員）

②業界関係者（卒業生、元大阪府臨床検査技師会理事、
元豊中市衛生検査所精度管理専門委員）

教 員 名：堀田 博恵

書 記：兵頭 弘美

事 務 局：鶴田 敏郎

【①講 評】

1. 教育理念・目標

教育理念・教育目標について前向きに取り組んでおられることを評価します。また、教育効果を上げる工夫が見られ、校外実習に重きを置いていることも評価します。

国家資格取得への指導に力を入れ、国家試験の合格率について高水準を維持されています。

今後も学科内容・学校について SNS やオープンキャンパス等による外部への情報発信について継続されることを期待しています。

2. 学校運営

学校運営について、規則や規程を周知し理解を深め、情報公開や情報システム化等の推進を行い、日々の情報共有や業務の効率化を図られていることを評価します。

3. 教育活動

指定規則に則り、講義、学内実習、臨地実習を実施し、専任教員、非常勤講師はシラバスに基づいて授業を実施されていることを評価します。

今後も業務分担や支援体制の見直しを図り、教員は学会、研修会等に参加し、資質向上に努められること期待します。

4. 学修成果

国家試験合格率および就職率の向上が見られるが、中途退学者率の低減には至らなかったのは残念です。

今後は教職員間の情報共有を強化し、退学予防支援の早期化を図るとともに、教育内容や支援体制の継続的な見直しと改善を目指されることを期待します。

5. 学生支援

学生の多様なニーズを的確に把握し、経済的支援、健康管理、就職支援、カウンセリング等の各種支援体制を図られていることを評価します。

今後も卒業生の状況把握がスムーズに行われることを期待します。

6. 教育環境

施設の老朽化に伴う公舎の立替や、設備に関しては新しい機器の導入方法に対し評価します。

今後も定期的な防災訓練を行い、地震等の災害時の備蓄品の整備を行なわれることを期待します。

7. 学生の受入れ状況

学校の魅力を的確に伝えるため、ホームページやオープンキャンパスの内容を分かりやすく効果的な情報発信を継続的に行うことにより入学希望者の獲得につなげる努力をされていることを評価します。

今後も広報戦略や募集活動を工夫し入学者の獲得につながる工夫されるよう期待します。

8. 法令等の遵守

関係法令、規則等に基づき、学則及び必要な規程等を整備し、学校運営を行っています。また、個人情報保護対策がとられていることも評価します。

9. 社会貢献・地域貢献

社会貢献や地域貢献の取組、成果、課題について評価します。

学生のボランティア活動や学会参加を奨励し支援していることについて評価します。今後も継続されるよう期待します。

【②講 評】

・本年度の評価において、全体として課題に対する改善が着実に進められており、学校運営および教育活動の質の向上に向けた取組が認められた。

・教育理念・目標については、各種資料およびヒアリングから改善が確認された。

学校運営においても、事業計画の策定や情報公開の面で適切な対応がなされている。しかし、就業規則の文書化や業務の効率化に向けた情報システム化については、引き続き改善の余地がある。

・教育活動は概ね適切に実施されているが、専任教員の確保や教員の資質向上に関する取組には課題が残されており、今後の重点的な対応が望まれる。

学修成果に関しては、聴講生制度や面談活動などの取組により、資格取得率の向上および退学率の低減に改善傾向が認められる。

- ・学生支援については、経済的支援および健康管理体制が法令に基づき整備されており、さらに課外活動支援の充実も確認されるなど、全体として改善が図られている。
教育環境においても、設備更新などの具体的な改善が認められるが、防災訓練の未実施については、早急な対応が求められる。
- ・学生の受入れ状況に関しては、広報体制の課題があったものの、高校訪問等の積極的な取組により適切な対応がなされている。また、法令遵守についても、自己評価結果の公開を含め適切に対応されていることが確認された。
- ・社会貢献・地域貢献の分野では、献血ボランティア活動をはじめとする継続的な取組が高く評価できる。今後は、系列病院との連携を一層強化し、さらなる活動の充実が期待される。

以上より、全体として改善傾向にあり、適切な運営が行われていると評価できる。

今後は、残された課題に対する継続的な取組により、さらなる質の向上が図られることを期待する。

【課題・今後の対策】

- ・広報・学生募集の強化
SNS 発信やオープンキャンパス内容を充実させ、高校訪問と連動した募集活動を強化する。
- ・中途退学者の低減対策
定期面談の早期実施と教職員間での情報共有を徹底し、学習・生活両面の個別支援を強化する。
- ・教員体制
専任教員の計画的な採用と、研修・学会参加を通じた指導力向上を図る。
- ・業務効率化
就業規則等のマニュアル化を進めるとともに、ICT 活用により情報共有と業務効率化を図る。
- ・防災関係
年 1 回以上の防災訓練を実施し、備蓄品の整備・点検を行う。
- ・教育・連携
教育内容の定期見直しと臨地実習の充実、地域・系列病院との連携強化を図る。
- ・備考
本年度、第三者評価は未実施である。

2025 年度 行岡保健衛生学園 自己点検・評価表

学校名：大阪行岡医療専門学校長柄校

学科名：鍼灸科

記入者：名倉 正典

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法、学校教育法に定める専修学校にして、医療専門課程を置き、放射線学、診療検査学、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧術に関する理論と実地技能を教え、兼ねてその品性を陶冶し、有為な診療放射線技師、臨床検査技師、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師を養成して、人類の福祉に寄与することを目的とする。

(学則より転記)

2. 学科の教育目標

本学の理念である「協同」の精神に則り、他者とのコミュニケーションの重要性を十分に理解して、協調性をもって医療現場に臨み、倫理の重要性や人の命の尊さを十分に意識して行動ができ、自ら考え判断して地域医療に貢献できる人間性豊かな人材の育成を目指しています。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 ② 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 3 ② 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・職業教育の特色は、国家資格の取得を目的とした教育、東洋医学と西洋医学の融合を目指した教育、臨床現場を想定した実技や実習教育があげられる。
- ・学校の理念・教育目的および人材育成像については、学生への周知や理解度には差が見られる。教育活動や授業内容との関連性をより明確にし、共通理解を深める必要がある。

②今後の改善方策

- ・教職員会議や入学時のオリエンテーション、保護者会などを開催し、学生、保護者と理念・教育目標の共有を図る。また、シラバスや授業内容との関連を明確化し、教育活動の中で理念が具現化されるよう取り組む。

③根拠資料

④特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 ② 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

①課題

・業界に対して鍼灸あん摩マッサージ指圧の施術における安全対策や、法令の遵守に取り組んでいるが、地域住民からの苦情・トラブル対応など、地域との適切な関係性が重要である。

・本学園においては、教務・学生管理などのシステムが分散しており、データ連携が十分でないことから、手入力などの作業が発生している。

②今後の改善方策

・地域住民に安心して関わってもらえる学校であることを念頭に、地域貢献（ボランティア活動）を行い、また苦情、トラブルに対して迅速・誠実な対応と再発防止策を行う。

・今後は情報共有可能なシステムの導入や、現時点で運用しているシステムの連携強化を図るとともに、各種業務のオンライン化やペーパーレス化を推進できればと思う。

③根拠資料

④特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 ② 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・臨床経験や教育力の豊かな教員、若い教員の確保が急務となっており、中長期的には鍼灸科の根本的な課題となってくると思われる。
- ・先端的な知識・技能等の修得や能力開発のための研修へに積極的にな参加や取り組みは行われていない。

②今後の改善方策

- ・教員養成学校や卒業生と連携をとることで、教員の確保に努める。
- ・現在、東洋療法学校協会が主催の研修などには参加しているが、他の研修参加も検討していく。
- ・今後、学生指導や特にメンタルケアなどの研修も必要と考えられる。

③根拠資料

④特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 ② 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

①課題

- ・資格取得率は、近年やや低下傾向となっている。その要因として、基礎学力の不足や学習習慣の未定着、各学生の国家試験学習の開始時期の遅いことが挙げられる。
- ・模擬試験の活用が十分でなく、弱点克服につながっていない点や、学習意欲の低下による取り組み姿勢の差も課題である。
- ・国家試験への学習の開始が遅い学生が資格取得できていないことが多い。

②今後の改善方策

- ・早期より国家試験を意識した授業の行うとともに、面談など通じて学習意欲の向上、個別支援体制の強化し、資格取得率の向上を図る。

③根拠資料

- ・第34回あん摩マッサージ指圧師国家試験
- ・第34回はり師国家試験
- ・第34回きゅう師国家試験

④特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 ② 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 ② 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

①課題

- ・学生の経済的支援体制や健康管理体制については十分とは。
- ・保護者との連絡体制が十分とは言えず、学習の手助けとなる意思疎通が難しい。
- ・日本学生支援機構の奨学金や専門実践訓練給付金などの制度あるが、鍼灸科独自の経済的な支援体制は整備されていない。

②今後の改善方策

- ・保護者への成績の送付時での学生の学習到達度がわかるようにする。
- ・社会人経験者に対しては、各種スケジュールの周知が遅く予定が組みにくい。
- ・経済的支援については個別相談を行い、学外の奨学金や給付金の制度などの情報を学生と共有することで、学生の経済的負担軽減に努めていく。

③根拠資料

奨学金利用者の人数

④特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 3 ② 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 ② 1

①課題

- ・本校の施設・設備は概ね教育上の必要性に対応しているが、一部施設の老朽化やネット環境の整備不足が見られる。
- ・外部実習における実践的環境のさらなる充実が必要である。
- ・地震などの災害に対して避難など防災対策は不十分と考えられる。
- ・海外研修は行っていない。

②今後の改善方策

- ・今後は、計画的な設備更新、臨床環境の強化、ネット活用の推進、安全・衛生管理の徹底を図ることで、より質の高い教育環境の整備に努める。
- ・外部実習施設への実習についての理解をより促すことにより、実践的環境の充実を図る。
- ・防災体制の整備を進める。

③根拠資料

④特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

①課題

- ・少子化や進路の多様化により、医療系専門学校への進学志向も変化しているため、社会的ニーズや受験生の動向を踏まえた募集活動のあり方について検討が必要である。
- ・オープンキャンパスや学校説明会等の募集活動は実施しているが、活動の効果や改善に向けた分析を行う余地がある。

②今後の改善方策

- ・近年減少傾向にある社会人受験への対応が必要であり、国家資格を必要とする分野への広報活動を積極的に行うようにする。
- ・オープンキャンパスを参加者にとってより興味のある内容を考え、在校生だけでなく卒業生と話し合える機会を設定することで、鍼灸科への理解を深めてもらう。

③根拠資料

令和7年度鍼灸科資料請求者数

令和7年度鍼灸科オープンキャンパス来校者数

④特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③根拠資料

ホームページ「令和6年度 財務報告書」参照

④特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

①課題

- ・設置基準や指定規則に従い、適正な運営がなされている。
- ・自己評価による問題点の改善が不十分である。

②今後の改善方策

- ・法令順守の徹底を図る。
- ・今後、問題点の改善に努めていく。

③根拠資料

大阪行岡医療専門学校ホームページ参照

④特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

①課題

- ・高校への「腰痛講座」、臨床実習で地域の患者との繋がりはあるが、社会・地域貢献、公開講座などは積極的には行っていない。
- ・学生のボランティア活動に対しても、学生、および社会・地域との情報の共有が不十分であると考えられる。

②今後の改善方策

- ・地域イベントへの参加や、定期的に「鍼灸マッサージ体験会」や「健康相談会」の開催することを検討し、社会・地域貢献に努めていく。
- ・学生とイベントや地域活動などの情報共有を図り、学生のボランティア活動を支援する体制を構築していく。

③根拠資料

令和7年度「腰痛講座」

④特記事項

令和8年4月27日

学校関係者評価について（鍼灸科）議事録

1. 日 時： 令和 8年 4月 14日（火） 13時00分から15時00分
2. 場 所： 大阪行岡医療専門学校長柄校 鍼灸科 自習教室
3. 学校関係者評価の委員：①卒業生、大阪行岡専門学校 長柄校 鍼灸科 同窓会 副会長
②卒業生、(公社)大阪府鍼灸師会 理事
教 員 名：名倉 正典
書 記：森田 恭弘
事 務 局：鶴田 敏郎
4. 検討内容： 名倉正典教員による自己点検評価 3月20日（金）作成
 - ① 卒業生、大阪行岡専門学校 長柄校 鍼灸科 同窓会 副会長
 - ・国家試験の合格率をもっと高める。学習方法として、学生による模擬問題作成の習慣化
 - ・学生の集客に力を注いでいないように見える 宣伝力が低く営業をしていないように感じる
 - ・ホームページ検索も最初の2ページまでに出てこなければ、見てもらえない
 - ・異業種も含めて、様々なターゲットに興味を持ってもらえる内容の対外発信を増やす
 - ・当事者意識を持って、知ってもらう情報発信をして、学校選びで選ばれる状況をつくる
 - ② 卒業生、(公社)大阪府鍼灸師会 理事
 - ・日本教育学会など他学会への参加でビジネスマッチングや交流を増やす
 - ・若い世代に向けた授業を若い人の考えを元に作り出す
 - ・災害マニュアル 特に実習中の災害マニュアルは必要である
 - ・障害者用施設の完備など
 - ・業界団体との連携 (公社)大阪府鍼灸師会、(公社)大阪府鍼灸マッサージ師会など
 - ・地域の敬老会、ウォークラリー、人脈数珠つなぎなど地域イベントへの積極的参加
 - ・新入生に熱い思いを持っているうちに国試、目標設定を具体的に構築させる
5. 資 料：2025年度 学内における自己点検評価表 行岡保健衛生学園 - 名倉 -
6. 備 考：本年度、第三者評価については未実施である

以上

記録者 森田恭弘